


総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市沼上資源循環学習プラザ 静岡市西ヶ谷資源循環体験プラザ		
課 名	ごみ減量推進課		
指定管理者名	一般財団法人 静岡市環境公社		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和6年5月17日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 渡邊 能人（ごみ減量推進課長） ②委 員 柴 孝宏（環境共生課長） ③ " 鈴木 達也（収集業務課長） ④ " 白岩 俊正（環境大学13期生、グリーンバード 静岡グループのリーダー） ⑤ " 濱田 晴子（環境大学13期生、一般社団法人しずおか 住環境防災サポートセンター代表理事）		
評価点 (各委員平均点)	96.4点	評価	 A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		

<p>総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見</p>	<p>全体として、業務仕様書及び事業計画書に基づき適切に履行されている。</p> <p>コロナ禍においては、出前授業の充実を図る等、積極的に教育現場に赴き、利用者数を大きく減少させることなく環境教育の提供を行った。制度の改定等による学習内容の変更や掲示物のアレンジを創意工夫しており、令和2年度から4年間の利用者満足度の平均は97.6%、目標としている95%を超えており、水準の高い事業が実施されている。</p> <p>また、施設の保守・管理・点検においては、マニュアルに沿った運営を行っており、施設事故は0件を維持している。仕様書に規定された人員以上の配置や市民応対向上のための職場内研修を行なう等、所属職員への人材育成にも力を入れている。</p> <p>温泉・足湯施設に関しては、サーマルリサイクルの啓発を推進しているが、利用者数が平成31年度に比べると減少している。今以上に利用者数の増加や啓発が求められる。</p> <p>更なる環境学習・体験事業の躍進を期待する。</p>
--	--

総合評価結果総括表

施設の名称 [静岡市資源循環啓発施設] 課名 [ごみ減量推進課]
 指定管理者名 [一般財団法人静岡市環境公社]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(1)仕様書及び計画書に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。【30点】	30	30	29	27	29	29.0
(ア) 廃棄物の減量等に関する資料の展示 (5点)	5	5	4	5	5	4.8
(イ) 廃棄物の減量等に関する講座及び体験プログラムの企画運営に関すること (15点)	15	15	15	13	14	14.4
(ウ) 啓発施設の施設、設備等の利用に関すること (5点)	5	5	5	4	5	4.8
(エ) 体験プラザの施設等の利用の許可に関すること (5点)	5	5	5	5	5	5.0
(2) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。(10点)	10	10	10	10	10	10.0
(3) 適切な能力を持った職員が適正な人数配置された。(5点)	4	5	5	5	5	4.8
(4) 非常時の体制を整備し、マニュアルに基づき職員の意識向上を図るとともに、各種訓練・研修を実施した。(5点)	5	5	4	5	5	4.8
小 計	49	50	48	47	49	48.6
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						

(1) 指定管理者の努力により、学校や他機関との共催・連携等に積極的に取り組んだ。(10点)	10	10	10	8	10	9.6
(2) 指定管理者からの提案により市の施策と連動した事業が実施された。(5点)	5	5	4	5	5	4.8
小 計	15	15	14	13	15	14.4
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(1) 利用者へのアンケート調査において高い評価を受けた。(10点)	10	10	10	9	10	9.8
(2) 接遇研修の実施及び各種マニュアルの整備により職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情等に速やかに対応した。(5点)	5	5	5	5	5	5.0
小 計	15	15	15	14	15	14.8
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(1) 児童や生徒がごみや環境の問題へ興味、関心を持つような学習支援を行った。(15点)	15	15	14	14	15	14.6
(2) 温泉・足湯といった施設固有の特徴を活用できているか。(5点)	5	5	4	4	2	4.0
小 計	20	20	18	18	17	18.6
合 計	99	100	95	92	96	96.4

※ 評価委員名は記載しない。

※ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・講座、イベント共に、これだけの回数を開催していて素晴らしいと思います。受け入れ準備投入大変だと思いますが、引き続き多くの企画を期待します。
- ・環境大学卒業生で活躍している人を、臨時や、特別講師として採用してみてもどうか。
- ・子どもが多く来場するので、具体的な避難訓練も実施される事を願います。
- ・中学生も学校単位で受講できると良いのでは。
- ・満足度、理解度が高いようなので、素晴らしいと思います。

【B評価委員】

- ・コロナ禍でプログラム開催が大変な時期もあったでしょうが、過去4期で達成率が100%を上回りすばらしいと思いました。
- ・新規獲得に努められており、努力されている様子がうかがえました。
- ・大きな問題はなく堅実に業務を遂行されていると感じます。
- ・学習支援に対する児童の理解度、教師の満足度がともに高く、努力されている様子がうかがえます。
- ・しずもーる西ヶ谷の温浴施設は初めて知りました。もっと認知度が上がるとよろしいと思います。

【C評価委員】

- ・講座開催数は仕様書のとおり達成していることに加え、しずもーる沼上に関してはコロナ前より増加しており、評価できる。
- ・施設の運営体制については、仕様書よりも多くの人数が配置されている上、環境啓発課を設置しており、啓発効果が一層高まることが期待できる。
- ・幼少期からの環境教育の推進は、廃棄物の減量等への関与を継続するために有効であることから、こども園と連携した取組は高く評価できる。
- ・アンケート調査結果を分析し、利用者へのガイドの質を高めることで、利用者の満足度向上につなげており、評価できる。
- ・ごみ減量啓発講座における児童の理解度について、令和5年度は令和4年度と比較して、1ポイント下がっているものの、高い水準を保つことができている。

【D評価委員】

- ・概ね適正に実施されたものと評価する。
- ・プログラムの開発等に関しては一層の能力の発揮を期待したい。
- ・学校、他機関との連携について、より幅広く連携先を開拓してほしい。適正に実施されたものと評価する。
- ・温泉について、より多くの利用がなされるよう、施設の認知を一層高める努力を望みたい。

【E評価委員】

- ・資料展示では、パネルの内容を常に最新のものにしたり、学習講座及び体験講座の開催では、年齢層に応じた啓発プログラムを構築したり、フィールドワークを合わせるなどして、環境問題に興味・関心を持たせる工夫がされている。
- ・新たな利用者の開拓もされており、施設利用者が増加している。施設の管理においては、適切に保守・検が行われ、利用者対応についても研修が活かされ安定した運営が行われている。

- ・こども園から大学、介護施設や児童クラブなど、多くの機関と連携しており、体験学習やリユースイベントなどを通して、市の総合計画の施策目標である「ごみのさらなる減量に向けた協働の推進」を実践している。
- ・令和5年度の利用者満足度は、両施設とも99%を超えている。これは、日頃から利用者目線での対応を心掛けている結果だと思うので、継続していただきたい。
- ・ごみの減量啓発講座における児童の講座理解度は95.8%、教員の満足度は96.3%であり、教育機関において正式な課目として授業の割り当てがされているなど教育関係者からの評価が高い。
- ・温泉・足湯に施設については、利用者が平成31年度に比べ下回っているので、施設の周知方法を検討してほしい。

評価委員会としての意見

目標となる講座実施数及び利用者満足度は高い値を示しており、目標を達成している。市の施策に連動する事業内容となっており、総合的に高く評価できる。また、積極的に教育機関との連携による質の高い教育の提供を行っており、指定管理者の持つ専門性やノウハウ、ネットワークを活かした運営を実施している。

温泉・足湯施設については、認知度向上に努めていただきたい。

今後は、年齢層に途切れのない環境教育の提供を期待するとともに、更なる啓発効果を波及していただきたい。